

# ファイナルレポート

## drupa 2012

国際印刷・メディア産業展

2012年5月16日

### drupa 2012 が印刷・メディア産業の未来を拓く

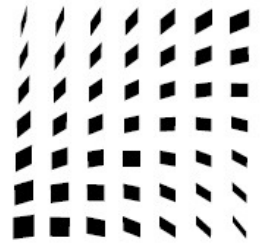
### イノベーションが集結、投資も活発に

### 『drupa innovation park / drupa cube』も大成功

drupa 2012 は、世界の印刷・メディア産業に対し大きな刺激を与えた。最も重要なメッセージは、印刷には可能性があり、業界はその未来に投資をし続けている、ということだ。世界中の顧客と多数の契約が成立した、と多くの出展者が報告していることから、この傾向はメッセ会期前半戦ですでに顕著で、その投資欲は衰えることなく会期後半も続いた。これに加え、印刷・メディア産業全体に対するイノベーションが豊富で、市場志向のソリューションが多く見られた。『drupa は業界にとって大成功だった。そして重要な刺激を与えた。数多くのビジネスアイデアや革新的な製品が発表され、結果として活発な投資を促した。この2週間で1,850もの出展者が示したことは、印刷・メディア産業の発展の可能性を今後も高めてくれることだろう。』と振り返るのは、drupa 2012 委員会会長であり Heidelberg Druckmaschinen 社取締役会長の B. シュライアー氏だ。『ここデュッセルドルフで多くのビジネスが成立し、業界の今後の課題と目標も定まった。』

今回 drupa には、130 か国から 314,500 もの関係者が来場した。前回・2008 年開催と比べ、75,500 人ほどの減少だ。このことについて、『本年の drupa への来場数減少は、驚くことではない。というのは、2000 年～2011 年に独印刷業界だけでおよそ 3,900 社・61,000 もの従業員を失っており、米国では 7,700 の印刷業者が倒産したという事実がある。』そう説明するのは、メッセ・デュッセルドルフ代表取締役社長 W. M. ドーンシャイトだ。『そして重要な点は、大人数の団体で drupa へ来場するのではなく、少人数ではあるものの役員クラスが参加する、という傾向が顕著に表れていることだ。つまり drupa は、ビジネスを決める場であり、決定権を持つ人々が集結するメッセなのだ。』

『ビジネス環境が厳しい印刷産業に、drupa は重要な刺激を発信した。それにより、世界の多くの市場が投資停滞から開放されると期待している。』と話すのは、ドイツ



print media messe  
**drupa**

world market print  
media, publishing &  
converting

may 3 - 16, 2012  
düsseldorf, germany  
www.drupa.com



Messe Düsseldorf GmbH  
Postfach 101006  
40001 Düsseldorf  
Messeplatz  
40474 Düsseldorf  
Germany


Telefon +49 (0) 211/4560-01  
InfoTel +49 (0) 211/4560-900  
Telefax +49 (0) 211/4560-668  
www.messe-duesseldorf.de  
info@messe-duesseldorf.de

Geschäftsführung:  
Werner M. Dornscheidt (Vorsitzender)  
Wilfried E. Moog  
Joachim Schäfer  
Bernhard Stempfle  
Hans Werner Reinhard (Stv. GF)  
Vorsitzender des Aufsichtsrates:  
Dirk Elbers

Amtsgericht Düsseldorf HRB 63  
USt-IdNr. DE 119 360 948  
St.Nr. 105/5830/0663

Mitgliedschaften der  
Messe Düsseldorf:

 The global  
Association of the  
Exhibition Industry

 Ausstellungs- und  
Messe-Ausschuss der  
Deutschen Wirtschaft

Öffentliche Verkehrsmittel:  
U 78/79: Messe Ost/  
Stockumer Kirchstraße  
Bus 722: Messe-Center/Verwaltung

機械工業連盟(VDMA)印刷・製紙機械工業会 Dr. M. ヘーリンク専務理事だ。メッセ会期中に多数成約し、印刷機械メーカー、サプライヤーともに受注しているほか、引き合いも多く寄せられており、会期後のビジネスに期待感を示す出展者が多く見られた。

来場者を対象にしたアンケート結果は、drupa 2012 が世界で最も重要かつ最大の印刷・メディア業界 B2B メッセであることを体現している。明確な投資目的をもって drupa に来場するおよそ 50% が具体的に発注しており、そしてそのほとんどがメッセ会場で行われている。また、前回 2008 年開催に比べ、来場者全体に占める役員クラスの割合が 44.4%から 50.8%に増加している。



drupa の来場者は国際色豊かだ。ドイツ国外からの来場は 190,000 人超を記録、今年もその高い水準を保っている。なかでも目立つのはインドからの来場で、およそ 15,000 人を数える。これはドイツ(123,000 人)に次ぐ数字で、ベルギー、フランス、オランダ、英国、米国、スイス、イタリアがその後に続く。また、ブラジルを中心に中南米からの来場も多く、その割合は 7%から 8.8%へと増加した。もちろん、drupa 2012 を取材にやってきた報道関係者も非常に国際色豊かで、世界 75 か国から 2,400 名を数えた。

drupa 2012 の重要なテーマは、自動化、包装印刷、デジタル印刷、ハイブリッド技術、Web-to-Print ソリューション、グリーンプリンティングだ。例えば、来場者の 4 割がデジタル印刷機械・システムに関心を示し、『drupa innovation park / drupa cube』をはじめ、さまざまなブースで紹介されたプリンテッドエレクトロニクスも注目を集めた。

『drupa 2012 は技術面で最高のメッセだった。印刷がこれまでになく生き生きと示された。』そう述べるのは、ドイツ印刷・メディア工業会 R. シュヴァルツ会長だ。『全ての印刷工程において素晴らしいイノベーションがあった。なかでも、印刷とその後の工程を展示する別会社が一緒に、作業効率と生産の効率化を実現する優れた製品を紹介していたが、これはオフセットとデジタル印刷ソリューションが競合ではなくむしろ補完しあうことを示す興味深い一例だった。』

来場者の 2 割以上が『drupa innovation park / drupa cube』に関心を示すなど、併催プログラムも高く評価された。デジタル印刷技術のイノベーションが集結した『drupa innovation park』は 7.0 号館に設けられ、130 を超える出展者の満足度も非常に高かった。『新たな着想に焦点があてられた drupa innovation park は非常に優れた場だ。というのは、その多くは大規模なスペースが必要ではないものの、理解してもらえよう何らかの方法で発信されなければならないからだ。』と説明するのは、米国ロチェスター工科大学 F. ロマーノ名誉教授だ。『これを実現してくれ



た drupa は、世界最高のメッセだ。これからの主流となりうる着想の紹介の場である drupa innovation park は、それ自体が革新的なアイデアなのである。』

技術に焦点があてられた drupa innovation park に対し、7a 号館には専門会議 drupa cube が設けられ、クロスメディア・印刷コミュニケーションのトレンドがあつかわれた。プリントバイヤー、マーケティング意思決定者、広告主、出版などを対象とした本会議は 13 日間におよび、80 名以上のスピーカーと 55 か国からおよそ 1,000 人もの業界関係者が、クロスメディア広告活動、企業出版、新聞・出版におけるトレンド、アウトオブホーム応用、ダイアログマーケティング、包装、電子印刷、メディア制作などについて、活発な議論を交わした。

drupa 2012 会期中の 5 月 4 日と 11 日、(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンはドイツの専門誌『Deutscher Drucker』と提携し、日本語通訳付きの会場巡回ハイライトツアーを実施した。ツアーのコースは 2 つあり、並行して実施された。1 つは『オフセット印刷』をテーマとし、ドイツのハイデルベルグ、KBA、マンローランド、日本の小森とリョービ、スイスのシステム・ブルナー、米国のプレステックのブースを訪問、企業と出展製品についてプレゼンテーションを受けた。もうひとつは、『デジタル印刷』がテーマで、コニカ、ゼロックス、キヤノン、リコー、イスラエルのランダとフランスのインピカのブースを訪ねた。

5 月 11 日の午後には、会場内のコンgresセンターで日本からの参加者を対象に、日独同時通訳付きのセミナーが開催され、30 を超える関係者が参加した。在デュッセルドルフ日本国総領事の小井沼紀芳氏の挨拶でスタートした本セミナーにおいて、フラウンホーファー研究所 J. ハマーシュミット氏が『インクジェット印刷と機能性印刷』のタイトルで、複数の出版社・テレビ局などを持つベルテルスマングループの Medienfabrik Gütersloh 社マネジャー K. イルム氏は『2012 年にメディア企業が印刷産業に求めるのは何か』をテーマに、ドイツ機械工業連盟 (VDMA) 印刷・製紙機械工業会 Dr. M. ヘーリンク専務理事は『欧州印刷(機械)産業の実情』について発表、参加者にはレジュメも配布された。

## drupa 2016

今回は、2016 年 5 月 31 日(火)～6 月 10 日(金)にデュッセルドルフ見本市会場で開催される。

『drupa』に関する情報・お問い合わせは、[\(株\)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン](http://drupa.messe-dus.co.jp)、あるいは日本語ホームページ <http://drupa.messe-dus.co.jp> をご覧下さい。

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当: 橋木 雅弘

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

TEL.: 03-5210-9951

ニューオータニ ガーデンコート 7F

FAX: 03-5210-9959